

HIV 郵送検査と保健所等における HIV 抗体検査受検者の特性に関する研究

研究協力者：佐々木由理、塩野徳史、金子典代、市川誠一(名古屋市立大学看護学部)

研究要旨

調査協力の得られた郵送検査会社 A 社の検査受検者および 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)の 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関で 2012 年 10 月から 2013 年 9 月の期間に HIV 検査を受検した男女 62,269 名のうち、自記式質問紙に回答した 38,941 名(回答率: 62.5%)から、アンケートに初めて回答し、上記 8 都府県に在住する 28,564 名を分析対象者とした。郵送検査受検者群(以下、郵送受検者群、n=1,876)、保健所等 HIV 検査受検者群(以下、保健所等受検者群、n=18,996)やその他の公的 HIV 抗体検査機関である南新宿検査・相談室 HIV 検査受検者群(以下、南新宿受検者群、n=3,681)、chotCAST なんば HIV 検査受検者群(以下、chotCAST 受検者群、n=4,011)について解析した。

全受検者でみると、郵送検査の MSM 割合は 7.4%で、南新宿受検者群の 1/3、chotCAST 受検者群、保健所等受検者群のおよそ 1/2 の割合であった。その一方、MSM 以外の男性はほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。郵送検査受検者では、HIV 検査を初めて受検する割合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自発的に受検を決めていた。過去 6 ヶ月の感染不安を有する割合はすべての検査機関で 30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人に HIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低かった。郵送検査においては対面支援が困難であることから、受検する前後、特に結果を知らせる場面での情報提供が重要となる。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は 6 割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も 2/3 を占めており、いずれの検査機関においても、受検者の状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は 12.2%と低い。一方で友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全受検者の場合より高く、また家族への相談よりも高かった。

郵送検査では、一人暮らしの割合や既婚者割合、初めて受検する割合、金銭を払った性経験や金銭をもらった性経験の割合などが他の検査機関の受検者に比べて高い傾向にあり、これらの受検者層が郵送検査を自発的に選んでいる傾向が伺えた。相談場所の認知が低いことなどから他の検査機関と共に受検者への支援に関する情報提供などの対応が必要と思われる。

A. 研究目的

保健所等での HIV 検査件数は、2008 年の 177,156 件をピークにその後、激減している¹。2009 年の新型インフルエンザの流行や 2011 年の東日本大震災の影響も考慮すべきではあるが、2012 年の検査件数は 131,235 件で、2008 年のピーク時から約 46,000

件(25.9%減)の減少となっている。このように、保健所等での HIV 検査件数が減少傾向にある一方で、HIV 郵送検査件数は 2011 年まで年々増加を続け、2012 年も 65,000 件以上の利用となっている²。

郵送検査は、自宅で検査ができるため、匿名性や簡易性、時間的制限がないことなどがメリットであ

ると考えられている³。一方で、HIV 検査前後の対面での説明や相談、陽性であった場合の医療機関へのフォローアップがしづらい、検査キットの公的な精度管理が実施されていないといった懸念が指摘されている²。

しかし、日本において、MSM(Men who have sex with men)、セックスワーカー、若年層などの個別施策層に対する HIV 検査受検の促進が課題となっている中、郵送による HIV 検査を利用した受検者や保健所等を利用した受検者の特性については明らかになっていない。

本研究班は、MSM が HIV/AIDS 報告数の大半を占める現状から、保健所等での MSM の HIV 検査の受検を促進するため、NGO と保健所等との協力関係を進め、その効果を HIV 抗体検査受検者における MSM の動向を把握することとした。調査は、本研究班の対象地域である 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)で受検者アンケートに協力が得られた保健所等・公的検査機関で実施した。また、近年の郵送検査利用者の増加を鑑み、郵送検査会社 1 社の協力を得た。

本研究では、HIV 郵送検査受検者群(以下、郵送受検者群)、保健所等 HIV 抗体検査受検者群(以下、保健所等受検者群)やその他の公的 HIV 抗体検査機関受検者群(南新宿検査・相談室 HIV 検査受検者群、以下南新宿受検者群; chotCAST なんば HIV 検査受検者群、以下 chotCAST 受検者群)の 4 群について受検者特性を解析した。

B. 研究方法

2012 年 10 月から 2013 年 9 月に調査協力の得られた郵送検査会社 1 社と 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)で無料匿名検査が受けられる 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関(南新宿検査・相談室および chotCAST なんば)で HIV 抗体検査を受検した男女 62,269 名を対象にした。

1) 保健所等公的検査機関の受検者アンケート

保健所等およびその他の公的 HIV 抗体検査機関には、採血前後にアンケートを回答することを依頼した。受検者には文書によるアンケートへの協力を依

頼し、回答後にアンケート用封筒に密封して、保健所等に設置された専用の回収ボックスに投函することとした。回答されたアンケートは毎月ごとに郵送で回収した。

2) 郵送検査の受検者アンケート

郵送受検者へのアンケートは郵送検査会社 A 社の協力を得て実施した。A 社はホームページあるいはコールセンターを通じて受検者から検査キットの注文を受け、検査キットを受検者に送付する。その際にアンケートも同封してもらった。受検者には、検査キットで血液検体を採取して返信用封筒で血液検体を A 社に返送する際に、回答したアンケートと一緒に返却することを書面で依頼した。

3) 分析対象者

調査協力の得られた郵送検査会社 1 社の検査受検者および 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)の 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関で 2012 年 10 月から 2013 年 9 月の期間に HIV 検査を受検した男女 62,269 名を対象にした。調査参加に同意し、自記式質問紙に回答した 38,941 名(回答率: 62.5%)のうち、アンケートに初めて回答し、上記 8 都府県に在住する 28,564 名を分析対象者とした。

郵送受検者群(n=1,876)、保健所等受検者群(n=18,996)、南新宿受検者群(n=3,681)、chotCAST 受検者群(n=4,011)の 4 群の社会属性、検査受検行動、周囲との関わり、予防や治療の知識、性行動について、全受検者と MSM(Men who have sex with men)について分析した。

なお、この 8 都府県は、本調査で協力の得られた保健所等および 2 つの公的 HIV 抗体検査機関の所在地であり、対象者を 8 都府県在住者に限定することで、地域性の一定化を図った。

郵送受検者群は東京都内(36.8%)、神奈川県内(16.1%)、千葉県内(9.9%)の関東圏内在住者が 60%を占めていた(表 1)。保健所等受検者群では、東京都内(24.5%)、神奈川県内(15.9%)、千葉県内(7.7%)の関東圏内在住者がおよそ 50%、大阪府内が 21.1%、

愛知県内が15.5%であり、調査協力地域の受検者数に応じた分布であった。当然ではあるが、南新宿受検者群は東京都内在住者が87.5%、chotCAST受検者群は大阪府内在住者が99.8%であった。

本研究では、性別が男性で、性行為相手が男性のみ又は男女両方であった場合をMSMと定義し、MSM受検者を検査機関別に関連を見た。また調査期間中に一部調査項目が追加されたため、それらの質問項目に関しては質問項目追加後の回答者を分析対象とした。 χ^2 検定でp値が0.05未満の場合を統計学的に有意であるとした。統計解析にはSPSS 19を使用した。

4) 倫理的配慮

「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿った倫理的配慮を図るため、名古屋市立大学看護学部の研究倫理委員会の審査を受け、承認を得て調査を開始した(ID番号11026-2)。

研究の目的や調査協力の自由、個々の回答を調査協力施設のスタッフが見ないことを書面にて説明し、アンケートへの回答により同意したものとした。調査で入手したすべての情報は、研究代表者が指名した研究者のみがアクセスできるものとし情報管理を徹底した。検査受検者のアンケートは血液検体とリンクしておらず、個人を特定する質問項目は含めなかった。

C. 研究結果

検査機関の受検者別における8都府県の居住地分布と社会属性、検査受検行動、予防や治療に関する知識、性行動について、全受検者とMSM受検者で分析を行った。

1. 郵送検査および保健所や公的検査機関の全受検者について

1) 社会属性(表2)

全受検者に占めるMSM割合は、南新宿受検者群が24.0%と最も高く、chotCAST受検者群15.3%、保健所等受検者群12.2%、郵送受検者群7.4%であった。MSM以外の男性は、保健所等受検者群53.3%、郵送受検者群52.6%、chotCAST受検者群51.9%とほぼ同様

で、南新宿受検者群41.2%と少ない割合であった。女性は、郵送受検者群が40.0%を占めたが、南新宿受検者群34.7%、保健所等受検者群34.2%、chotCAST受検者群32.3%はほぼ同様であった。(p<0.001)

年齢階級が24歳未満の若年層の割合は保健所等受検者群が18.4%で、郵送受検者群や南新宿受検者群に比較して高かった(p<0.001)。

居住形態で一人暮らしの割合は、保健所等受検者群35.4%に比して南新宿受検者群50.8%、郵送受検者群45.4%は高く(p<0.001)、既婚者割合は南新宿受検者群(19.4%)やchotCAST受検者群(21.8%)に比して郵送受検者群(28.4%)、保健所等受検者群(27.6%)が高かった(p<0.001)。

2) HIV検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識(表3)

HIV検査の受検経験を有する割合は、南新宿受検者群が45.1%と最も高く、郵送受検者群は34.8%と低かった(p<0.001)。今回の検査を自分で受けようと思った人の割合はどの群でも高かったが、特に郵送受検者群は92.2%を占めていた(p<0.001)。郵送検査は初めて検査を受ける人が多く、ほとんどが自発的に受検していることが示唆された。

過去6ヶ月に感染不安がよくあった、時々あったと回答した割合は、すべての検査機関の受検者で30%台であったなか、南新宿受検者群が36.1%で最も高かった(p=0.006)。

HIVに関する相談場所について、知っていると回答した人の割合は南新宿受検者群で55.4%と5割を超えていたが、保健所等受検者群44.1%、chotCAST受検者群43.1%、郵送受検者群36.5%で、これらの受検者では知らない者が6割近くを占めていた(p<0.001)。

HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は郵送受検者群が23.4%と他の群に比して低いが(p<0.001)、保健所等受検者群36.3%、chotCAST受検者群33.4%、南新宿受検者群31.2%でも受検者の2/3は相談できないと回答していた。このことは友達への相談でも同様であった(p<0.001)。

友達や知人に感染者がいる、いると思うと回答した人の割合は、南新宿受検者群で20.5%、chotCAST受検者群15.3%、保健所等受検者群13.7%、郵送受検者群9.2%の順であった($p<0.001$)。

HIV感染予防や知識の問題5問に対して、全問正解した人の割合は、郵送受検者群(36.3%)やchotCAST受検者群(36.2%)で他の群より高かった($p<0.001$)。

3) 性行動について(表4)

すべての検査機関の受検者の95%以上がセックス経験を有しており、過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験割合も2/3を越えていた。セックス相手別にみた過去6ヶ月の膣・アナルセックス時のコンドーム使用状況は、特定男性とのセックス時では南新宿受検者群27.5%、chotCAST受検者群25.9%、保健所等受検者群22.7%、郵送受検者群18.6%であった($p<0.001$)。特定男性以外の男性とのセックス時では、南新宿受検者群で35.4%、chotCAST受検者群35.2%、保健所等受検者群28.8%、郵送受検者群28.4%であった($p<0.001$)。特定女性とのセックス時では南新宿受検者群36.9%、chotCAST受検者群33.3%、保健所等受検者群33.0%、郵送受検者群32.5%で差異はなかった($p=0.162$)。特定以外の女性とのセックス時では、南新宿受検者群で43.7%から保健所等受検者群39.1%の範囲で差異はなかった($p=0.119$)。

過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験を持つ受検者割合は、郵送受検者群35.4%が他群に比較して高かった($p<0.001$)。また金銭をもらってセックスをした経験を持つ受検者割合も、郵送受検者群8.3%と他群より高かった($p<0.001$)。

性感染症既往歴の割合は、22.7%~25.6%の範囲であった。

2. 郵送検査および保健所や公的検査機関のMSM受検者について

1) 社会属性(表5)

居住形態で一人暮らしと回答しているMSMは南新宿受検者群で61.7%と最も高く、次いで郵送受検者群55.8%、chotCAST受検者群50.2%、保健所等受検者群48.8%であった($p<0.001$)。既婚者割合は7%~

15%と低いが、郵送受検者群15.2%は他群と比較すると高かった($p=0.039$)。

2) HIV検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識(表6)

MSM受検者で過去のHIV検査経験を有する割合は、南新宿受検者群が69.8%と最も高く、最も低かった郵送受検者群でも58.0%であった($p=0.045$)。今回の検査を自発的に決めた人の割合はchotCAST受検者群が85.6%と最も低く、他の群は90%を超えていた。特に郵送受検者群96.4%は最も高かった($p=0.008$)。MSM受検者においても郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。

HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、すべての検査機関のMSM受検者が20%前後で、郵送受検者群は12.2%であった($p=0.028$)。友人に相談できる、できると思うと回答した割合は家族より高いが、南新宿受検者群50.7%、保健所等受検者群49.7%、chotCAST受検者群49.3%に比して郵送受検者群は29.6%であった($p=0.001$)。

HIV感染予防や知識について、全問正解者の割合は郵送受検者群で49.0%と最も高く、次いでchotCAST受検者群46.4%、保健所等受検者群40.0%、南新宿受検者群36.9%であった($p=0.003$)。

3) 性行動について(表7)

過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験割合は、すべての検査機関のMSM受検者で80%前後の回答であった($p=0.979$)。セックス相手別に見た膣・アナルセックス時のコンドーム使用状況は、特定男性とのコンドーム常用割合が郵送受検者群36.3%、南新宿受検者群36.2%、chotCAST受検者群34.0%に比して保健所等受検者群29.1%は低かった($p=0.010$)。また特定以外の男性とのコンドーム常用割合も、南新宿受検者群とchotCAST受検者群が43.1%、郵送受検者群40.5%に比して保健所受検者群36.7%が低かった($p=0.018$)。

過去6ヶ月のセックス経験について、金銭を払って

セックスをした経験があるMSM受検者は、郵送受検者群は30.4%で他群(14.0~15.4%)に比して高かった($p<0.001$)。金銭を受け取ったセックス経験の割合には有意な差は見られなかった($p=0.641$)。

性感染症既往歴は、25.5%~28.8%の範囲であった。

D. 考察

郵送検査、保健所等のHIV検査およびHIV検査を主体とする公的検査機関である南新宿検査・相談室、chotCASTなんばの受検者の特性について、全受検者とMSM受検者ごとに示した。受検者についてはMSM、MSM以外男性および女性を別にして検討する必要があるが、本研究で全受検者とMSMについて示した。

1) 全受検者について

全受検者についてみると、郵送検査ではMSM割合が7.4%と少なく、南新宿受検者群の1/3、chotCAST受検者群、保健所等受検者群のおよそ1/2の割合であった。その一方で、MSM以外の男性は4群ではほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。受検者の社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。

また郵送検査受検者では、HIV検査を初めて受検する割合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自身で受けるのを決めていることが示唆された。過去6ヶ月の感染不安を有する割合は、すべての検査機関で30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人にHIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低いことが示された。郵送検査においては対面支援が困難であることから、受検する前後、特に結果を知らせる場面での情報提供が重要となる。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は6割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も2/3を占めており、いずれの検査機関においても、受検者のこうした状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

受検者の95%以上が性経験を有し、過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験も2/3を越えていた。セックス時のコンドーム使用状況は、特定男性との場合に

比して特定以外男性とのセックス時では常用率が高かった。しかし特定女性の場合と特定以外の女性の場合とではそれほど大きな差異はなかった。コンドーム常用者の割合は郵送受検者群に低いことが示され、HIV/性感染症の感染リスクが高い傾向が示唆された。しかし、性感染症既往歴にはそれほど大きな差異は見られていない。

過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験を持つ受検者割合は、郵送受検者群が35.4%で、金銭をもらってセックスをした経験を持つ受検者割合も郵送受検者群が8.3%と他群より高かったことは、これらの行為により不安となり郵送検査で受検していることが考えられる。

2) MSM受検者について

郵送検査では、MSM受検者の割合が他の検査機関3群に比して低く10%にも及んでいなかった。しかし、本報告では示していないが、郵送検査でHIV陽性であったものはすべてが男性受検者であり、わが国のHIV/AIDS報告の多くをMSMが占めていることを考慮すると、HIV陽性の多くはMSMであるものと推察される。この点で、郵送検査はMSMにとっても早期検査の機会となっているものと考ええる。

MSM受検者では、一人暮らしの割合は49%~62%で、既婚者割合は7%~15%と低かった。その中で郵送受検者群は、15.2%と他群に比較して高く、既婚者の利用がやや多い傾向にある。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は12.2%と低い。一方で友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全対象に比して高く、また家族への相談より高い。このことは、MSMは家族には相談しにくい、友人には相談しやすいことを示唆していると考ええる。

過去6ヶ月のコンドーム使用状況は、特定男性とのコンドーム常用割合、特定以外の男性とのコンドーム常用割合のいずれも保健所受検者群で低いことが

示された。MSMでは郵送検査受検者が必ずしも他の検査機関の受検者に比して感染リスク行動が高いとは言えなかった。しかし、過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験があるMSM受検者は郵送受検者群が30.4%と他群(14.0～15.4%)に比して高く、HIV検査を郵送検査で受ける背景要因の一つと考える。ただし、性感染症既往歴は25.5%～28.8%の範囲で、検査機関によって大差はなかった。

郵送検査は、個人で検査ができ、匿名性や簡易性、時間的制限がないなどのメリットがある。本研究からは、郵送検査受検者は一人暮らしの割合や既婚者割合、初めて受検する割合、金銭を払った性経験や金銭をもらった性経験の割合などが他の検査機関受検者に比べて高い傾向にあり、これらの受検者層が郵送検査を自発的に選んでいる傾向が伺えた。その一方で、相談場所の認知が低いことなどから他の検査機関と共に受検者への支援に関する情報提供などの対応が必要と思われる。

E. 結語

郵送検査受検者、保健所等受検者、およびHIV検査を主体とする公的検査機関の南新宿受検者、chotCAST受検者について、それぞれの検査機関の受検者の特性を、全受検者とMSM受検者について示した。

全受検者でみると、郵送検査のMSM割合は7.4%で、南新宿受検者群の1/3、chotCAST受検者群、保健所等受検者群のおよそ1/2の割合であった。その一方、MSM以外の男性はほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。

社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。

郵送検査受検者では、HIV検査を初めて受検する割

合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自身で受検することを決めていた。

過去6ヶ月の感染不安を有する割合はすべての検査機関で30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人にHIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低いことが示された。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は6割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も2/3を占めている。いずれの検査機関においても、受検者の状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は12.2%と低い一方で、友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全受検者の場合より高かった。MSMは家族には相談しにくい、友人には相談しやすいことが示唆された。

参考資料

1. エイズ動向委員会(2014). エイズ予防情報ネット. <http://api-net.jfap.or.jp/status/>
2. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、加藤真吾、今井光信.(2012). HIV郵送検査に関する実態調査と検査精度調査. 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業 平成24年度研究報告書.
3. 加藤真吾.(2013). 保健所等及び病院におけるHIV検査体制. 第6回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会資料. <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002ypg6-att/2r9852000002ypk7.pdf>

表1. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の8都府県居住地分布 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者	
		n 1876		18996		3681		4011	
居住地	宮城	75	4.0%	1258	6.6%	0	.0%	0	.0%
	東京	690	36.8%	4657	24.5%	3222	87.5%	4	.1%
	神奈川	302	16.1%	3017	15.9%	238	6.5%	3	.1%
	千葉	185	9.9%	1454	7.7%	218	5.9%	1	.0%
	愛知	221	11.8%	2940	15.5%	0	.0%	0	.0%
	大阪	243	13.0%	4000	21.1%	3	.1%	4001	99.8%
	福岡	128	6.8%	1020	5.4%	0	.0%	1	.0%
	沖縄	32	1.7%	650	3.4%	0	.0%	1	.0%

表2. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の社会属性 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		
		n 1876		18996		3681		4011		p値
性別	MSM	138	7.4%	2324	12.2%	883	24.0%	613	15.3%	.000
	MSM以外男性	986	52.6%	10124	53.3%	1516	41.2%	2082	51.9%	
	女性	750	40.0%	6501	34.2%	1276	34.7%	1297	32.3%	
	不明	2	.1%	47	.2%	6	.2%	19	.5%	
年齢階級	24歳未満	248	13.2%	3502	18.4%	496	13.5%	662	16.5%	.000
	24-39歳	1218	64.9%	11259	59.3%	2360	64.1%	2584	64.4%	
	40歳以上	405	21.6%	4031	21.2%	800	21.7%	735	18.3%	
	無回答	5	.3%	204	1.1%	25	.7%	30	.7%	
一人暮らし	はい	852	45.4%	6720	35.4%	1870	50.8%	1654	41.2%	.000
	いいえ	1021	54.4%	12231	64.4%	1806	49.1%	2356	58.7%	
	無回答	3	.2%	45	.2%	5	.1%	1	.0%	
結婚	している	533	28.4%	5252	27.6%	714	19.4%	876	21.8%	.000
	していない	1342	71.5%	13696	72.1%	2961	80.4%	3129	78.0%	
	無回答	1	.1%	48	.3%	6	.2%	6	.1%	
保険	加入	1841	98.1%	18233	96.0%	3605	97.9%	3872	96.5%	.000
	未加入	26	1.4%	499	2.6%	54	1.5%	102	2.5%	
	無回答	9	.5%	264	1.4%	22	.6%	37	.9%	

表 3. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識 ー全受検者ー

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n	1876	18996		3681		4011		
検査経験	あり	653	34.8%	7182	37.8%	1660	45.1%	1501	37.4%	.000
	なし	1223	65.2%	11750	61.9%	2017	54.8%	2500	62.3%	
	無回答	0	.0%	64	.3%	4	.1%	10	.2%	
定期的に検査している (検査経験者中)	はい	114	17.5%	1752	24.4%	447	26.9%	390	26.0%	.000
	いいえ	528	80.9%	5213	72.6%	1187	71.5%	1088	72.5%	
	無回答	11	1.7%	217	3.0%	26	1.6%	23	1.5%	
受検の契機	自分で決めた	1730	92.2%	16373	86.2%	3178	86.3%	3311	82.5%	.000
	人から勧められた	143	7.6%	2588	13.6%	495	13.4%	694	17.3%	
	無回答	3	.2%	35	.2%	8	.2%	8	.1%	
過去6ヶ月の感染不安	よくあった・時々あった	644	34.3%	6349	33.4%	1328	36.1%	1399	34.9%	.006
	あまりなかった・全くなかった	1229	65.5%	12548	66.1%	2339	63.5%	2599	64.8%	
	無回答	3	.2%	99	.5%	14	.4%	13	.3%	
周囲のHIV感染者の存在認識 (友人・知人)	いる・いると思う	173	9.2%	2593	13.7%	754	20.5%	613	15.3%	.000
	いないと思う・いない	1355	72.2%	12179	64.1%	2136	58.0%	2556	63.7%	
	わからない	345	18.4%	4115	21.7%	780	21.2%	822	20.5%	
	無回答	3	.2%	109	.6%	11	.3%	20	.5%	
		n	1453	14095		2699		3109		
相談場所* (電話相談等)	知っている	531	36.5%	6222	44.1%	1496	55.4%	1339	43.1%	.000
	知らない	913	62.8%	7826	55.5%	1194	44.2%	1764	56.7%	
	無回答	9	.6%	47	.3%	9	.3%	6	.2%	
HIV・性感染症で困った時・不安な時										
-家族への相談*	できる・できると思う	340	23.4%	5119	36.3%	841	31.2%	1038	33.4%	.000
	できないと思う・できない	923	63.5%	6794	48.2%	1465	54.3%	1562	50.2%	
	わからない	190	13.1%	2143	15.2%	384	14.2%	509	16.4%	
	無回答	0	.0%	39	.3%	9	.3%	0	.0%	
-友達への相談*	できる・できると思う	342	23.5%	5388	38.2%	1035	38.3%	1162	37.4%	.000
	できないと思う・できない	940	64.7%	6805	48.3%	1371	50.8%	1538	49.5%	
	わからない	171	11.8%	1867	13.2%	286	10.6%	404	13.0%	
	無回答	0	.0%	35	.2%	7	.3%	5	.2%	
病院受診* (仮に感染していたら)	できる・できると思う	1370	94.3%	13524	95.9%	2617	97.0%	2946	94.8%	.000
	できないと思う・できない	83	5.7%	484	3.4%	74	2.7%	147	4.7%	
	無回答	0	.0%	87	.6%	8	.3%	16	.5%	
HIV予防・治療関連知識*										
全問正解(5問)	全問正解(5問)	527	36.3%	4332	30.7%	787	29.2%	1124	36.2%	.000
	一部・全問不正解/無回答	926	63.7%	9763	69.3%	1912	70.8%	1985	63.8%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表4. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の性行為 ー全受検者ー

		郵送		保健所等		南新宿		chotCAST		
		受検者		受検者		受検者		受検者		p値
		n	1876	18996		3681		4011		
生涯のセックス経験	ある	1860	99.1%	18573	97.8%	3642	98.9%	3943	98.3%	.000
	ない	11	0.6%	203	1.1%	18	0.5%	37	0.9%	
	無回答	5	0.3%	220	1.2%	21	0.6%	31	0.8%	
生涯のセックス経験あり		n	1860	18573		3642		3943		
過去6ヶ月のお金を払ったセックス経験	ある	658	35.4%	5130	27.6%	879	24.1%	1197	30.4%	.000
	ない	1197	64.4%	13309	71.7%	2745	75.4%	2725	69.1%	
	無回答	5	.3%	134	.7%	18	.5%	21	.5%	
過去6ヶ月のお金をもらったセックス経験	ある	155	8.3%	837	4.5%	146	4.0%	195	4.9%	.000
	ない	1694	91.1%	17545	94.5%	3472	95.3%	3712	94.1%	
	無回答	11	.6%	191	1.0%	24	.7%	36	.9%	
過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験	ある	1296	69.7%	11686	62.9%	2448	67.2%	2473	62.7%	.000
	ない	559	30.1%	6719	36.2%	1176	32.3%	1443	36.6%	
	無回答	5	.3%	168	.9%	18	.5%	27	.7%	
過去6ヶ月の特定男性との膣・アナルセックス経験あり		n	582	5414		1336		1183		
コンドーム使用	常用	108	18.6%	1231	22.7%	368	27.5%	306	25.9%	.000
	非常用	474	81.4%	4183	77.3%	968	72.5%	877	74.1%	
過去6ヶ月の特定男性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	388	3471		1000		789		
コンドーム使用	常用	110	28.4%	1001	28.8%	354	35.4%	278	35.2%	.000
	非常用	278	71.6%	2470	71.2%	646	64.6%	511	64.8%	
過去6ヶ月の特定女性との膣・アナルセックス経験あり		n	570	5226		821		1091		
コンドーム使用	常用	185	32.5%	1725	33.0%	303	36.9%	363	33.3%	.162
	非常用	385	67.5%	3501	67.0%	518	63.1%	728	66.7%	
過去6ヶ月の特定女性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	569	4596		773		979		
コンドーム使用	常用	229	40.2%	1799	39.1%	338	43.7%	392	40.0%	.119
	非常用	340	59.8%	2797	60.9%	435	56.3%	587	60.0%	
		n	1450	13943		2687		3086		
性感染症既往歴*	ある	371	25.6%	3165	22.7%	636	23.7%	716	23.2%	.000
	ない	1065	73.4%	10403	74.6%	2008	74.7%	2320	75.2%	
	無回答	14	.7%	375	2.7%	43	1.6%	50	1.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表5. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の社会属性 -MSM受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n	138	2324		883		613		
年齢階級	24歳未満	21	15.2%	432	18.6%	95	10.8%	100	16.3%	.000
	24-39歳	78	56.5%	1353	58.2%	525	59.5%	377	61.5%	
	40歳以上	39	28.3%	522	22.5%	255	28.9%	133	21.7%	
	無回答	0	.0%	17	.7%	8	.9%	3	.5%	
一人暮らし	はい	77	55.8%	1134	48.8%	545	61.7%	308	50.2%	.000
	いいえ	61	44.2%	1188	51.1%	336	38.1%	305	49.8%	
	無回答	0	.0%	2	.1%	2	.2%	0	.0%	
結婚	している	21	15.2%	212	9.1%	65	7.4%	59	9.6%	.039
	していない	117	84.8%	2107	90.7%	818	92.6%	554	90.4%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	0	.0%	0	.0%	
保険	加入	136	98.6%	2204	94.8%	858	97.2%	589	96.1%	.010
	未加入	1	.7%	92	4.0%	21	2.4%	23	3.8%	
	無回答	1	.7%	28	1.2%	4	.5%	1	.2%	

表6. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識 -MSM受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n	138	2324		883		613		
検査経験	あり	80	58.0%	1499	64.5%	616	69.8%	402	65.6%	.045
	なし	58	42.0%	822	35.4%	267	30.2%	210	34.3%	
	無回答	0	.0%	3	.1%	0	.0%	1	.2%	
定期的に検査している	はい	18	22.5%	547	36.5%	233	37.8%	152	37.8%	.051
	いいえ	61	76.3%	911	60.8%	374	60.7%	244	60.7%	
	無回答	1	1.3%	41	2.7%	9	1.5%	6	1.5%	
受検の契機	自分で決めた	133	96.4%	2067	88.9%	799	90.5%	525	85.6%	.008
	人から勧められた	5	3.6%	256	11.0%	84	9.5%	88	14.4%	
	無回答	0	.0%	1	.0%	0	.0%	0	.0%	
過去6ヶ月の感染不安	よくあった・時々あった	71	51.4%	997	42.9%	389	44.1%	286	46.7%	.239
	あまりなかった・全くなかった	67	48.6%	1322	56.9%	490	55.5%	326	53.2%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	4	.5%	1	.2%	
周囲のHIV感染者の存在認識 (友人・知人)	いる・いると思う	39	28.3%	903	38.9%	417	47.2%	277	45.2%	.000
	いないと思う・いない	79	57.2%	1057	45.5%	329	37.3%	244	39.8%	
	わからない	20	14.5%	360	15.5%	134	15.2%	91	14.8%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	3	.3%	1	.2%	
		n	98	1772		667		485		
相談場所* (電話相談等)	知っている	52	53.1%	1021	57.6%	412	61.8%	275	56.7%	.247
	知らない	46	46.9%	747	42.2%	252	37.8%	207	42.7%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	3	.4%	3	.6%	
HIV・性感染症で困った時・不安な時										
-家族への相談*	できる・できると思う	12	12.2%	395	22.3%	129	19.3%	92	19.0%	.028
	できないと思う・できない	82	83.7%	1174	66.3%	461	69.1%	329	67.8%	
	わからない	4	4.1%	199	11.2%	76	11.4%	64	13.2%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	1	.1%	0	.0%	
-友達への相談*	できる・できると思う	29	29.6%	880	49.7%	338	50.7%	239	49.3%	.001
	できないと思う・できない	65	66.3%	728	41.1%	269	40.3%	205	42.3%	
	わからない	4	4.1%	162	9.1%	60	9.0%	40	8.2%	
	無回答	0	.0%	2	.1%	0	.0%	1	.2%	
病院受診* (仮に感染していたら)	できる・できると思う	92	93.9%	1683	95.0%	644	96.6%	465	95.9%	.450
	できないと思う・できない	6	6.1%	82	4.6%	21	3.1%	20	4.1%	
	無回答	0	.0%	7	.4%	2	.3%	0	.0%	
HIV予防・治療関連知識*										
全問正解(5問)		48	49.0%	709	40.0%	246	36.9%	225	46.4%	.003
一部・全問不正解/無回答		50	51.0%	1063	60.0%	421	63.1%	260	53.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表7. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の性行為 -MSM受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n								
生涯のセックス経験	ある	138	100.0%	2324	100.0%	883	100.0%	613	100.0%	.000
	ない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
過去6ヶ月のお金を払ったセックス経験	ある	42	30.4%	357	15.4%	124	14.0%	89	14.5%	.000
	ない	96	69.6%	1960	84.3%	756	85.6%	523	85.3%	
	無回答	0	.0%	7	.3%	3	.3%	1	.2%	
過去6ヶ月のお金をもらったセックス経験	ある	4	2.9%	126	5.4%	37	4.2%	32	5.2%	.641
	ない	134	97.1%	2191	94.3%	843	95.5%	580	94.6%	
	無回答	0	.0%	7	.3%	3	.3%	1	.2%	
過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験	ある	110	79.7%	1883	81.0%	712	80.6%	488	79.6%	.979
	ない	28	20.3%	436	18.8%	169	19.1%	124	20.2%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	2	.2%	1	.2%	
過去6ヶ月の特定男性との膣・アナルセックス経験あり		n	80	1505		536		409		
コンドーム使用	常用	29	36.3%	438	29.1%	194	36.2%	139	34.0%	.010
	非常用	51	63.8%	1067	70.9%	342	63.8%	270	66.0%	
過去6ヶ月の特定男性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	79	1473		599		367		
コンドーム使用	常用	32	40.5%	540	36.7%	258	43.1%	158	43.1%	.018
	非常用	47	59.5%	933	63.3%	341	56.9%	209	56.9%	
過去6ヶ月の特定女性との膣・アナルセックス経験あり		n	44	503		115		117		
コンドーム使用	常用	13	29.5%	190	37.8%	61	53.0%	51	43.6%	.008
	非常用	31	70.5%	313	62.2%	54	47.0%	66	56.4%	
過去6ヶ月の特定女性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	44	432		105		98		
コンドーム使用	常用	16	36.4%	169	39.1%	54	51.4%	45	45.9%	.090
	非常用	28	63.6%	263	60.9%	51	48.6%	53	54.1%	
		n	98	1772		667		485		
性感染症既往歴*	ある	25	25.5%	461	26.0%	192	28.8%	124	25.6%	.000
	ない	73	74.5%	1234	69.6%	470	70.5%	358	73.8%	
	無回答	0	.0%	77	4.3%	5	.7%	3	.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。